

ごあいさつ



初代 野中 トエ 園長（開園当時）



二代目 泉 潔 園長（現理事長）

蛭池文化幼稚園は、昭和4年創立の豊中市で最も歴史のある幼稚園の一つです。現在、蛭池共同利用センターのある南門前池のほとりに「出口幼児園」としてスタートしました。まだのどかな時代で、蛭もその季節には池の周りにたくさん飛んでいたそうです。初代 野中トエ園長は、蛭池小学校教諭としての人望も厚く、退職に当たり地域の教育に対して大きな要望を受け、幼稚園設立に至りました。あの悲しい太平洋戦争による一時休園を経て、長年にわたり地域の方々のご支援のもと、幼児教育に邁進して参りました。もうすぐ創立100周年を迎えようとしており、新制度に対応した認定こども園として、卒園児は7400名をこえています。

時代は移り変わりますが、子ども達の心は今も昔も変わりはありません。新しい保育方法を取り入れながらも、伝統の幼児教育の根っこは昔のままです。

日本人だれもが持っている道德心・正義感・思いやり・感謝の心・探究心を育み、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育てます。園長 泉 恒



認定こども園と幼児教育・保育の無償化について

蛭池文化幼稚園は、平成27年度より幼稚園型認定こども園になり、先生の人数を増やし、保育内容や保育室・教材などの設備の充実により、幼稚園として、また2号認定児に対応した保育園としても、質の向上をいたしました。

「教育・保育の無償化」制度により、認定こども園の満3歳～5歳の全ての子どもの方々の基本保育料は無償化され、保護者の負担は毎月の特定保育料のみとなっています。また、ご両親が就労されている2号認定児は、幼稚園教育を受けた後、無償で日々の預かり保育を受けることができ、定員の制限の無い「新2号認定児」という新しい認定は、保育料の無償化に加え、預かり保育料の一部（450円/日、最大11,300円/月）がキャッシュバックされます。当園では子育て支援のため、少しでも保護者の皆様に精神的や金銭的にストレスがかからないよう、登降園管理や出欠連絡、用品販売のカード決済などにICTを活用し、保育料や用品なども値上げの無いよう工夫しています。

沿革

1929/04 野中トエ 初代園長が豊中市蛭池中町1-1に自宅を解放「出口幼児園」として開園
1936/04 豊中市蛭池西町1-11-3の現在地に移転。木造園舎2保育室
1944/04 太平洋戦争のため終戦まで休園
1948/04 「財団法人 蛭池文化幼稚園」として大阪府知事より認可
1971/04 野中トエ 初代園長、叙勲により勲六等宝冠章受章
1973/05 野中トエ 初代園長逝去
1973/08 泉 潔 二代目園長就任
1977/12 園舎全面改築A棟竣工(鉄筋コンクリート2階建て8保育室637㎡)
1978/04 園舎全面改築B棟竣工(鉄筋コンクリート3階建て472㎡)
1979/04 豊中市委託簡易保育所「いずみ保育園」開設
1982/02 「学校法人 蛭池学園」設立認可(財団法人から学校法人へ設置主体変更認可)
1999/04 泉 潔 二代目園長、功績により藍綬褒章受章
2002/04 「いずみ保育園」は簡易保育園から認可保育園へ
2005/04 3階建て新館完成
2010/04 「いずみ保育園」新園舎完成、蛭池駅前(豊中市蛭池中町)に移転
2014/04 「あつぷるこども園」竣工(鉄筋コンクリート2階建て)及び閉園
2015/04 「蛭池文化幼稚園」は子ども・子育て新制度にそった幼稚園型認定こども園に移行
2020/04 泉 恒 三代目園長就任

蛭池文化幼稚園の保育の目指すところ…



当園では、道德心・正義感・思いやり・感謝の心・探究心を育み、次世代を担う人間を育てます。体験を通した学びと、その学ぶ過程を重要視し、創造力や共感性、自己解決力を高め、自ら学び行動できる子になる基礎作りとしての教育・保育を進めています。

認定こども園(幼稚園型)として、教育・保育スタッフの質と量を整えたうえで、各クラス20名前後の少数にとどめ、笑顔のある心地よい環境で、幼稚園教諭によるていねいな保育活動、幼児専任講師の体操とスイミング指導で子どもたちのたくましいカラダや身体バランスの調整力、ネイティブの英語講師の英語あそびで国際感覚を育みます。年長児はエスアイあそび(知能教育)や海外園とのリモート国際交流を取り入れている他、地域のお年寄りや小学生との交流も増やし、温かい心を育て、小1プロブレムの無い小学校へのスムーズな接続を目指します。

特に、すぐに結果が見えやすい、数を数えられる、文字がわかるといった単に知識を増やす「認知能力」よりも、これからの人生においてとても大切な、根気よく努力したり、自ら問題を乗り越える自己解決力、人と理解し合い協力して何かをやり遂げるといった「非認知的能力の獲得」の基礎をつちかいます。

というのも、子どもたちが大人になる20～30年後には、肉体労働や単純作業はロボットが人に替わって行い、社会のグローバル化が進んで「世界各国の人々と手をつないで仕事をしたり生活をする」という時代がやってきます。その時には知識よりも、自立的に行動したり、粘り強くあきらめない、人と円滑にコミュニケーションできるといった「目に見えない力(非認知能力)」がとても重要になるからです。

国もその「目に見えない力」の重要性を認識して、平成30年度より幼稚園から大学までの指導要領を大改革し、知識偏重の詰め込み教育が時代遅れとなる中、思考力・判断力・表現力を身につけることがこれからの学力となります。

そして、当園ではそういった「目に見えない力」の発達や成長をできるだけ保護者のみなさまに「見える化」していきます。園のブログや動画などによる情報公開に加えて、担任の先生たちがクラス便りを楽しみビジュアル化したり、園児の発達記録ポートフォリオに取り組んだりと保育の「見える化」をさらに進め、子どもたちの発達や成長のよろこびをお父さんお母さんと共有して、園とご家族が手を取り合って、楽しく子育てできる園を目指しています。

蛭池文化幼稚園 1年間の保育目標（あくまでも目標であり、できたかどうかではなく、目標を持ってがんばる過程が大事だと考えています）

	年少	年中	年長
	明るくのびのびとした元気な子・まじりの守れる人と協力する子・よく考えみずから行動できる子・美しくあたたかい心を持った子		
年間目標	・先生や友だちとの信頼関係を築き、安定した園生活を送る ・明るく元気に園生活を過ごし、先生や友だちと活動することを楽しむ ・元気にあいさつができ、しっかりとことばを話することができる ・活動を通し、自分なりに表現することを楽しみ、前向きに取り組む ・基本的生活習慣が身につき、自分のことは自分で行うとする	・自分の思いを表現し、友だちや先生の思いを受け入れ、関係を深める ・言葉で自分の気持ちを伝えることができる ・あそびのなかで友だちの言葉や行動から思いに気づき、受け入れようとする ・身だしなみや身の回りの整理整頓ができるようになる ・ひらがなに興味を持ち、自分の名前を読み書きできる	・小学校就学に向けて～色々なことに協力して取り組み、見通しを持って行動する ・主体的にあそびや園生活を進め、けじめのある行動をする ・友だちと相談したり、協力して物事を進めることができる ・あそびの中で文字や数字に興味を持ち、読んだり書いたりする ・時計や天候などを確認して状況判断をし、見通しを持った行動をする
1学期目標	・園生活に慣れ、安心して登園する ・新しい環境に慣れ、安心してすごす ・先生や友だちと触れ合うことで仲良くなる ・自分の好きなあそびを見つけて楽しむ ・あいさつを進んで行ない、はっきりと返事をする	・園生活のルールを理解し、園生活が好きになる ・カプラやブロックなど、好きなあそびを友だちと工夫してあそぶ ・先生や友だちにうれしいこと、自分の考えなどを表現したり伝えたりする ・園内外の動植物に触れ、親しみをもち、絵画などで表現する ・襟をきちんとし、ボタンを留める	・年長になった喜びを味わい、新しい環境に自らかかわる ・自分から先生や友だち、年下の子にかかわり、親しくなる ・身体を存分に動かし、友だちと一緒に得意なことにも挑戦する ・その日に何が必要かを理解し、自分で持ち物を用意する ・何時何分か時間が読めるようになり、時計を見て行動する
2学期目標	・先生や友だちとの関わりを深める ・行事を通して、友だちと一緒に運動したり、制作することを楽しむ ・あそびの中で、ことばで自分の思いや要求を伝えようとする ・園生活やあそびの中に決まりがあることに気づき、守ろうとする ・自然に触れ、色々な動植物に興味を持つ	・気持ちを伝え合い、自分の力を発揮する ・身体全体を使って運動や音楽を楽しみ、自分の力を発揮する ・自分なりの目標に向かって、考えたり試したりして活動する ・先生や友だちに困ったこと、してほしいことなどを表現したり伝えたりする ・体操服や制服のシャツをズボン・スカートの中に入れる	・目標に向かって、みんなで協力して工夫したり考えたりする ・一つの目標に向かって、みんなで助け合いながら取り組み、充実感や達成感を味わう ・グループ活動を通し、友だちと話しあい、協力して物事を決める ・役割を持つ喜びを味わい、その役割をやり遂げようとする ・ひらがなに興味を持ち、絵本やあそびを通して文章が読めるようになる
3学期目標	・あそびを通して、園での集団生活を楽しむ ・友だちと一緒に活動しながら、コミュニケーションすることを楽しむ ・えほんを見たりしながら、ことばへの興味を広げる ・あそびや色々な練習などで、すぐにあきらめずに続けようとする ・園でのすごし方がわかり、身の回りのことを自分でやろうとする	・あそび方を考え、みんなと一緒に生活する楽しさを実感する ・友だちと力を合わせて、なんでも最後までやり通す達成感を味わう ・あそびの中で発見したことを友だちと伝えあい、驚きや喜びを共有する ・おもちゃや道具が片付けられているか、自ら気づけるようにする ・先生や友だちに言われる前に、服装を整える	・色々な状況を考え、見通しを持って、自ら発言や行動をする ・一日の生活に見通しを持ち、次の行動に自ら気づいて、行動に移す ・クラスの一員として、友だち同士助け合い、絆を深める ・ごっこあそびの中で、数や数量、言葉や文字などを使って楽しむ ・一年生になることへの喜びと期待、そして何事もあきらめない心を持つ

※上記に加え、各学年とも「その学年なりに、感染症を理解し、消毒やマスクの付け外しなど、感染予防策を自分で管理できるようにする」ことも目標にいらています。

年間行事

毎月▷お誕生会／ぶんかドア（地球フレンズ動画・全学年）
毎学期▷園外保育／年長クッキング／ぶんかドア（ライブ国際交流・年長）
4月▷入園式／家庭訪問／クラス懇談会／避難(園児引き取り)訓練／園児対面式
5月▷れんげ摘み／ファミリー(母の日)参観／給食参観／春の遠足
6月▷歯科・内科・眼科・耳鼻咽喉科 検診／ファミリー(父の日)参観
7月▷プール開き／七夕集会／プラネタリウム見学／個人懇談／年長キャンプ／夏期保育
8月▷夏期保育
9月▷敬老演芸会出演(年中)/運動会
10月▷秋の遠足／祖父母参観／いも掘り／おいもパーティー
11月▷ぶんかカーニバル／ぶんか作品展／避難訓練
12月▷おもちつき／クリスマス会
1月▷とんど焼き／ふれあいサロン訪問／こま回し大会
2月▷節分豆まき／ぶんか発表会／英語・体操・年度末保育参観／個人懇談
3月▷新入園児一日入園／年長キッズニアお別れ遠足／全園児お別れ会／卒園式

週間指導内容

通常保育	専任講師による保育
月～金▷保育目標に添ったあそびを通した保育	月曜日▷体操指導
絵画指導・音楽指導・年長エスアイ知能あそび	火曜日▷英語あそび
土曜日▷縦割り交流保育(第3土曜日)	金曜日▷スイミング指導

保育時間		昼食	
月・火・木・金	…午前9時～午後2時30分	月・火・木	…給食センターによる栄養バランスを考えた給食
水・第3土曜日	…午前9時～午前11時30分	金	…お母さんの手作りお弁当

食事のあとの保育を充実させるために、午後保育終了時間を午後2時30分としています。
また「食育」として、大地の恵みへの感謝・好き嫌いをせず健康なからだをつくる・食べ物を粗末にしない…
など、お昼ごはんの時間にみんなでいっしょに考えながら食べています。

昼食については、当園では週一回のお弁当日を大事にし、週3回は給食となります。

- ▷新入園児の食事の様子を知っていただくために、新入園児保護者対象の給食参観・給食試食会・栄養士による食育セミナーも行っています。
▷年に数回、クラス編成を変えて「給食交流会」を行います。
▷園外へお弁当持参でピクニックに行ったり、園庭や屋上で食べたりもします。

